

授業支援クラウド

マンガでわかる

スクールタクト ClassiNOTE



初級編

今すぐ使える
機能を解説!



中級編

school Takt

学びとマナビが、ひびき合う。

ClassiNOTE

powered by SchoolTakt

スクールタクト ClassiNOTE



INDEX

基本
ワザ

+

応用
ワザ

授業に役立つ機能が充実!

ICTに苦手意識がある方でもすぐにご活用いただけます。また、先生方の声を反映させた直感的な操作画面により、安心かつ質の高い授業が実現できます。

準備

端末を開いた後、どうすれば?を解説!

ログイン方法
の確認



03

授業の環境
を作ろう



04

課題作成
と配布



05

単元整理と
新規課題作成



06

初級編

授業でICTを使うって?

初めてスクールタクトに触れる先生方へ、今までの授業の流れを変えずに、ボタンひとつで操作できる機能を使った授業シーンをご紹介します。

初級編

今まで作った教材がそのまま使える!

第1章

PDFの一括取り込み

07

初級編

紙に書いたことを簡単にみんなで確認できる

第2章

写真撮影・リアルタイム回答一覧

09

初級編

授業中でも、生徒の理解度を知ることができる

第3章

クリッカー(わかった・わからない)

11

授業が広がる！学びが深まる！

一斉授業・個別学習・反転授業・協働学習さまざまな授業での活用場面をご紹介します。

中級編	生徒にあった課題作りのバリエーションが広がる	
第1章	ムーブパーツ	13
中級編	生徒の意見を一瞬で集計・共有	
第2章	ワードクラウド機能	15
中級編	生徒の学び合いと個別対応をサポートする	
第3章	コメント・いいね機能	17
中級編	交流の軌跡や個人の取り組みを把握できる	
第4章	発言マップ	19
中級編	いつでもどこでも、振り返りを行える	
第5章	ポートフォリオ機能	21
中級編	数式やグラフが簡単！キレイ！に書ける	
第6章	数式・グラフ・表の作成	23
中級編	自己評価や先生評価でメタ認知を育てる	
第7章	ループリック評価	25
中級編	講義と画面共有で遠隔授業が簡単に実現	
第8章	音声通話・チャット機能	27



スクールタクト /ClassiNOTE を開いてみよう！

ログイン方法の確認

詳細情報



<https://bit.ly/303T3Kt>

STEP 1

ご利用環境、スクールタクトURL、ID、パスワードの情報を確認します。

ご利用環境がSSO連携ではない場合

スクールタクト
ClassiNOTE

URL、ID、パスワードを
学校のICT担当の先生に
確認する。

ご利用環境がSSO連携の場合

Google
Workspace for Education

URLを学校のICT担当の
先生に確認する。
ログイン方法▼



<https://bit.ly/3RuGnzb>

まなびポケット
ClassiNOTE

各種システムのログイン
情報を学校のICT担当の
先生に確認する。
スクールタクトアプリから
自動でログインできる。



学校内でログイン情報が得られなかった場合



自治体契約の場合は、
教育委員会様へお問合せください。

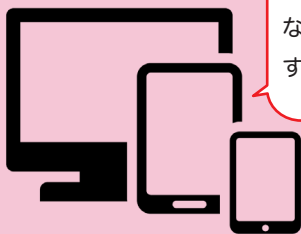


その他の場合は、
ご利用環境をご契約いただいた
ご担当者の方に契約元企業を
ご確認いただき、ご契約元企業様へ
お問合せください。

※SSO連携とは、1度のIDとパスワードによる認証で、複数のWebサービスやアプリケーションにログインする仕組みです。

STEP 2

ログイン情報を入力し、ログインできるか確認しましょう。



URL、ID、パスワード
など必要情報を入力
する。

マルチデバイスでログイン可能です

ログインができなかった場合

- ①ネットワーク、URL、ID、パスワードを再度ご確認ください。
- ②学校内ICT担当の先生、教育委員会様、ご利用環境の各契約元企業様へ、再度、お問合せください。



授業作りの第一歩！

授業の環境を作成

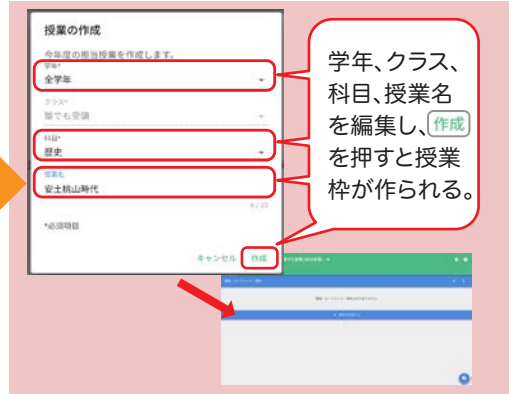
詳細情報



<https://bit.ly/3AOxtql>

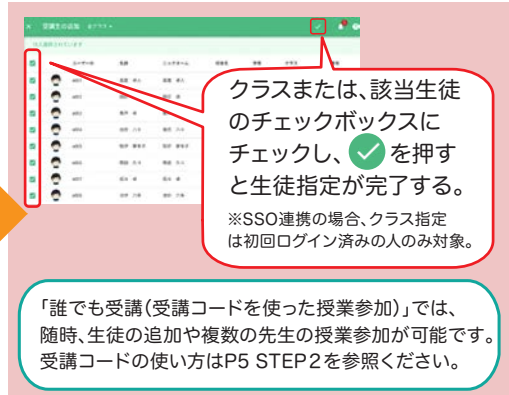
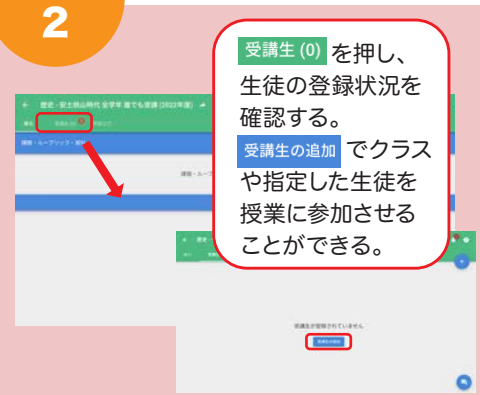
STEP 1 ログイン後の画面から授業枠の作成を行います。

1



STEP 2 授業枠毎に「誰でも受講」「クラス参加」の選択や、参加生徒の登録・削除が可能。

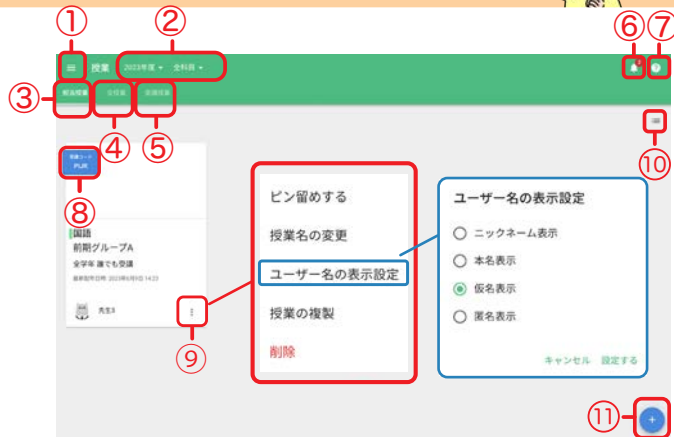
2



「授業一覧画面にはどんなツールがあるの？」



- ①メニュー表示
- ②教科・年度絞り込み
- ③自分が作成した授業
- ④校内授業一覧
- ⑤自分が受講した授業
- ⑥課題提出等の通知
- ⑦ヘルプセンター
- ⑧受講コード
- ⑨授業詳細メニュー
- ⑩授業一覧表示切替え
- ⑪授業作成ボタン





授業に合わせて選択できる 課題作成と配布



STEP 1

授業の詳細ページから課題を作成しましょう。

単元を押し、授業の詳細ページの + を押す。
新規課題を作成 を選択し、テンプレートを選ぶ。

テンプレートを選択し、このテンプレートで作成する を押すと、編集画面に変わります。

※課題テンプレートの使用詳細はP13を参照ください。

STEP 2

課題内容を編集します。「配布」しなければ何度でも編集可能です。

①キャンパスの追加
②キャンパスの複製・削除
③PDF・画像・テンプレ挿入
④ 選択 A テキスト
解答欄 O 図形
ペン 画像

課題作成し配布しない場合、「授業枠」に自動保存される。

「受講コード」を生徒の授業画面 + から入力すると「誰でも受講」ができる。

生徒画面

受講コードで授業に参加する

※端末によって表示位置が異なる場合があります。
※PDFの貼り付け方法の詳細はP7をご参照ください。
※数式入力の詳細はP23を参照ください。

STEP 3

課題が完成したら、課題の管理設定を行い配布をします。

課題編集画面の 設定 を押し、課題名・提出期限・共有の有無・コメントロック設定・先生メモ公開・グループ課題の選択を編集し保存する。 配布 を押すと配布完了。

配布完了!!

を押すと、先生メモの公開設定がえられる。



課題管理が綺麗にできる便利ツール

単元整理と新規課題作成

詳細情報



<https://bit.ly/3uQcE9X>

STEP
1

課題名の編集や、課題を単元で分けることができます。

単元の作成
安土桃山時代-文化

キャンセル 作成する

単元の名前を変更
単元を削除

STEP
2

単元で課題を分類し、データを整理しましょう。

新規課題を作成
新規ルーブリックを作成
ファイルを共有
リンクを共有

「ログアウトやマイアカウント設定はどうやるの?」



授業一覧画面の左上 からメニューバーを表示し、各種機能をご利用ください。

- 課題テンプレート一覧
- 生徒のポートフォリオ一覧
- 自作教材の登録
- アカウント設定
- 操作についてのお問い合わせなど
- ヘルプページ
- 基本操作の動画や授業案など
- ログアウト

これで準備完了!
次ページから漫画で活用シーンをご紹介します。



第1章 今までの授業で作った教材がそのまま使える！

PDFの一括取り込み



STEP
1

ワンクリックでファイル選択画面を開くことができます。

新規課題作成画面を開く。



を押し、
PDFと画像 を押す。

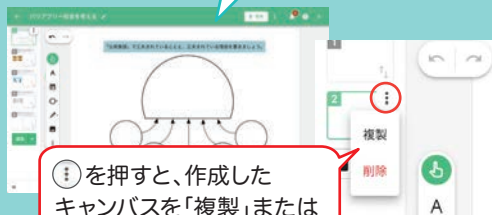


使用したいファイルを選択。
「開く」を押す。

STEP
2

1ページから最大19ページのPDFを一括添付できます。

PDFの添付が完了！



を押すと、作成した
キャンバスを「複製」または
「削除」することができる。

課題の設定ができます。

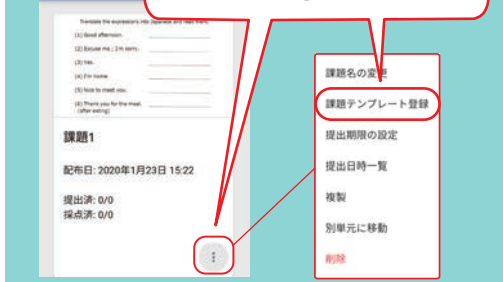
- ・課題名
- ・提出日時
- ・共有の有無
- ・コメントロック設定
- ・先生メモの公開
- ・グループ課題の選択

課題配布ボタンを押して
生徒へ一括配布。

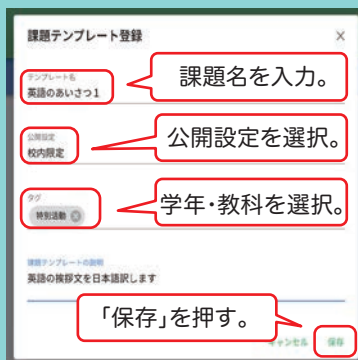
STEP
3

一度作った課題は、テンプレート登録で繰り返し使えます。

課題画面にある を押し、
開いたプルダウンの「課題テン
プレート登録」を押す。



- 課題名の変更
- 課題テンプレート登録
- 提出期限の設定
- 提出日時一覧
- 複製
- 別単元に移動
- 削除



課題名を入力。

公開設定を選択。

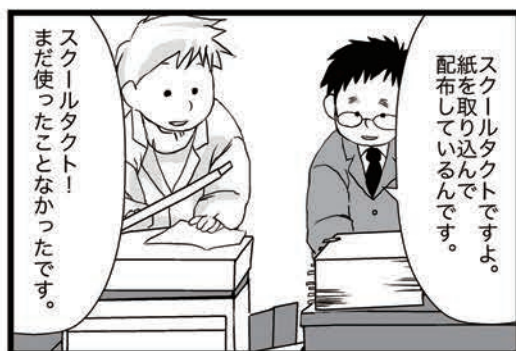
学年・教科を選択。

「保存」を押す。

これからの授業



印刷室



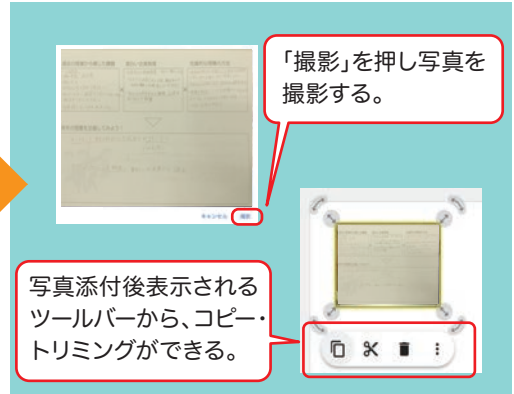
第2章 紙に書いたことを簡単にみんなで共有できる

写真撮影・リアルタイム回答一覧



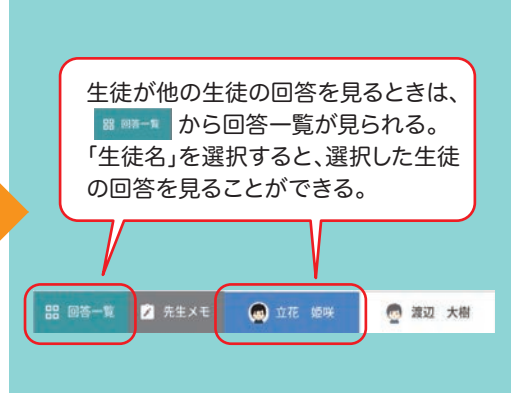
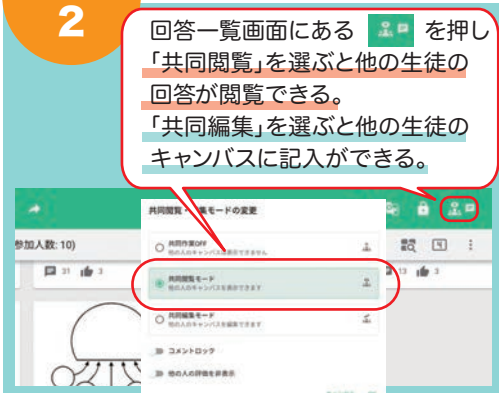
STEP 1

生徒は端末で写真を撮影し、キャンパスに貼り付けます。



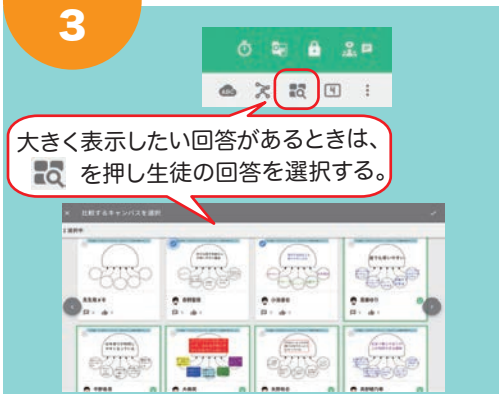
STEP 2

ボタン一つで、生徒同士が協働学習できる環境を作れます。



STEP 3

先生がクラスに見せたい回答を選び、大きく表示できます。



写真で撮ってみた



クチコミ

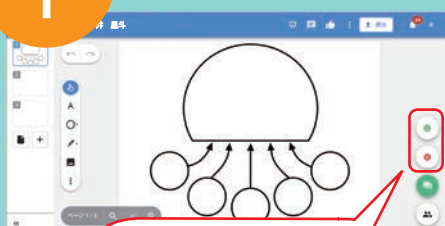


第3章 授業中でも、生徒の理解度を知ることができる クリッカー (わかった / わからない)

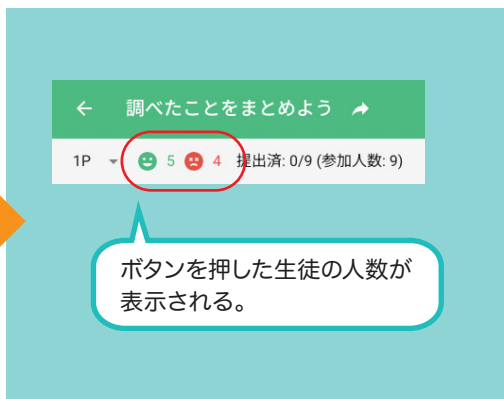


STEP 1

生徒が発信した「わかった」「わからない」をリアルタイムでキャッチします。



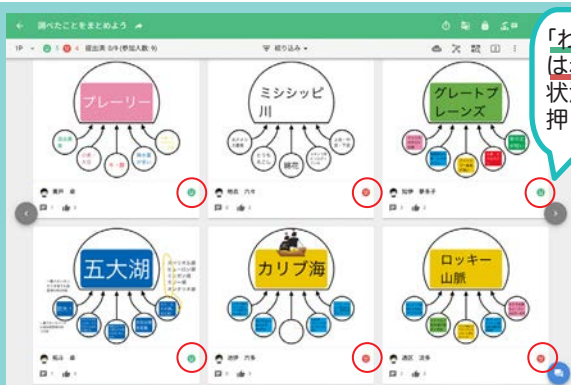
生徒は、自分の理解度を
🟢 🟡 🟠 🟡 🟠 🟡 🟠
を押して先生に
伝えられる。



ボタンを押した生徒の人数が
表示される。

STEP 2

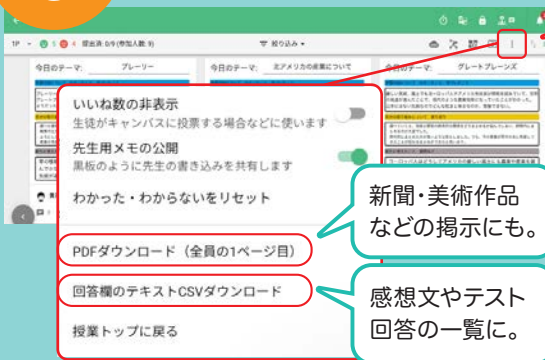
授業全体・各生徒の「わかった」「わからない」が一覧で確認できます。



「わかった」は緑、「わからない」
は赤のマークが表示され、個別の
状況を確認できる。
押していない場合は表示はない。

STEP 3

生徒が書いた回答をダウンロードし、理解度の詳細を把握できます。

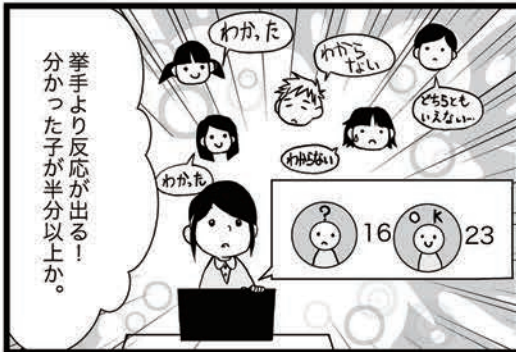


新聞・美術作品
などの掲示にも。

感想文やテスト
回答の一覧に。

⋮ を押す。
「PDFダウンロード」を押すと
生徒のキャンパス画像のデータを、
「回答欄のテキストCSVダウンロード」
を押すと生徒のテキストデータを、
全員分一括でダウンロードすること
ができる。

手ごたえ



いつもの悩み



第1章 生徒にあった課題作りのバリエーションが広がる

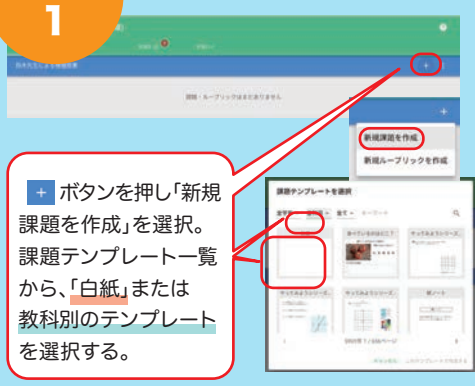
ムーブパーツ



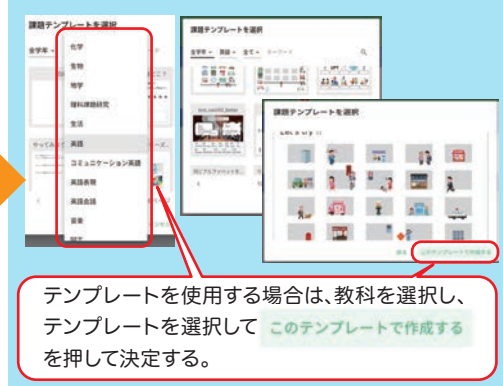
STEP 1

課題テンプレートを選択、または画像やテキストを入力し課題を作成します。

ボタンを押して「新規課題を作成」を選択。課題テンプレート一覧から、「白紙」または教科別のテンプレートを選択する。



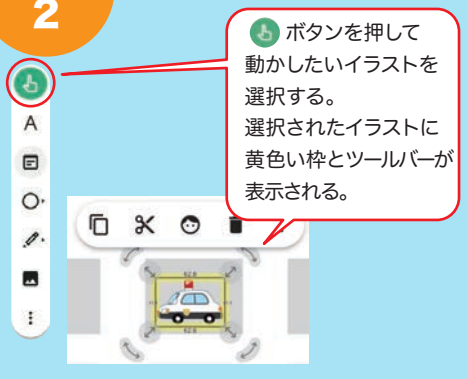
テンプレートを使用する場合は、教科を選択し、テンプレートを選択して「このテンプレートで作成する」を押して決定する。



STEP 2

画像の動かし方の指定を行います。

ボタンを押して動かしたいイラストを選択する。選択されたイラストに黄色い枠とツールバーが表示される。



ボタンを押すと、操作の指定について選択画面が表示される。画像につけたい動きを選択する。

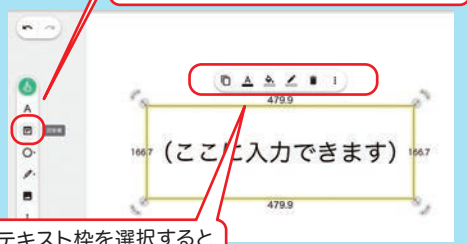


※ で指定を行わない場合、自動で「不可」の設定になります。

PLUS 1

キャンバス内に「回答枠」を作成し、見やすい課題が作れます。

ボタンを押して、テキスト入力枠を作成し、文字を入力する。



テキスト枠を選択するとツールバーが表示される。

でフォント、で枠、で塗りつぶし、で解答欄の配置を指定する。

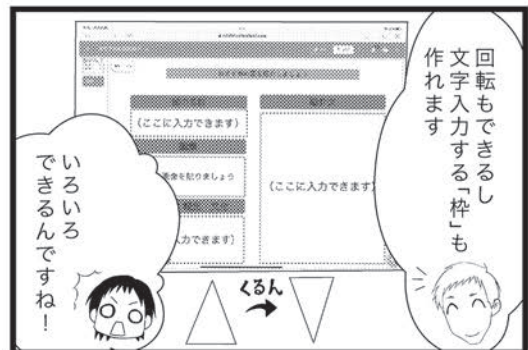


生徒は指定した枠の中に、テキストの入力を行うことができる。

アクティブな課題づくり



研究授業の後



第2章 生徒の意見を一瞬で集計・共有

ワードクラウド機能



STEP 1

テキストを集計し、キーワードで表示します。

ボタンを押すと
ワードクラウド表示
ができる。



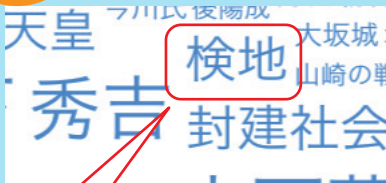
書いた人数が多いキーワードほど
大きく表示される。
小さく表示されたキーワードには、
個性的な意見が隠れていることも。



STEP 2

キーワードを選択すると、そのキーワードを書いた生徒が抽出されます。

ワードクラウドにあるキーワードを
をクリックする。



「キーワード」を選択すると、キーワードを
書いた生徒の回答が抽出される。

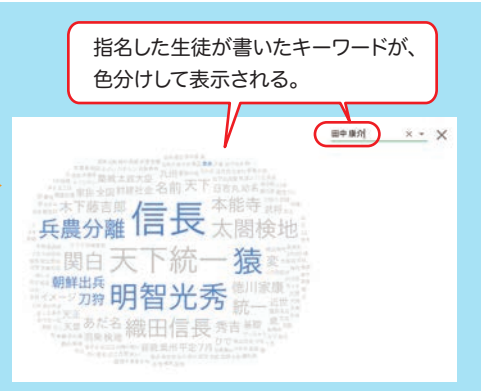
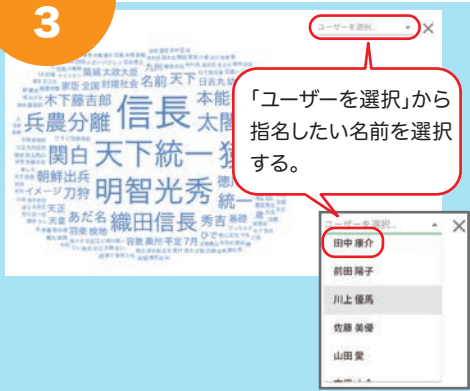


STEP 3

生徒を選択すると、選択された生徒が書いたキーワードがわかります。

「ユーザーを選択」から
指名したい名前を選択
する。

指名した生徒が書いたキーワードが、
色分けして表示される。



自分の変化に気づく



生徒の一言



第3章 生徒の学び合いと個別対応をサポートする コメント・いいね機能



STEP 1 コメントや「いいね」を送り合い、学びを双方向にします。

ボタンを押し
閲覧権限とコメント
の設定を行う。
「共同閲覧モード」で
生徒同士で回答を
閲覧し合ったり
👍を押し「いいね」
のサインを送ったり、
🗨️を押してコメント
を送り合う。

ボタンを押すと、「いいね」
のアクションを相手に送れる。
🗨️ ボタンを押すと、コメント欄
がキャンパスの右側に表示される。

閲覧したいキャンパスを選択する。

コメントを記入し、
➡️ ボタンで送信する。

STEP 2 画像や動画などのデータを添付し、個別の学びを支援します。

📎 ボタンを押すと、端末内の
データが表示される。
添付したいファイルを選択する。

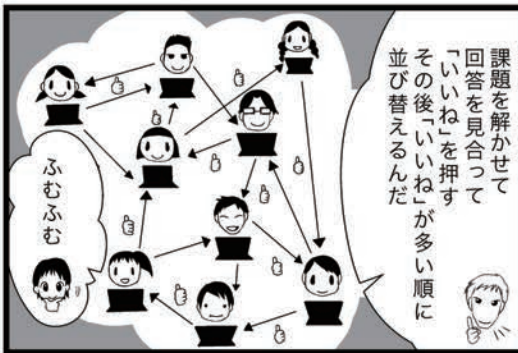
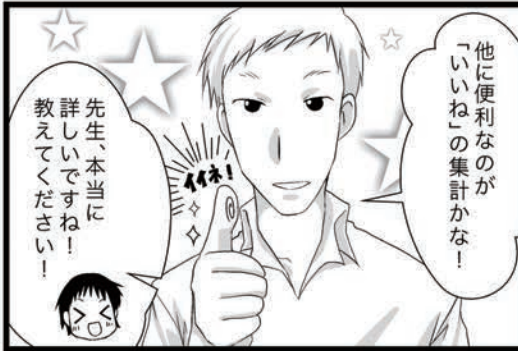
選択したデータが表示された
ことを確認し、➡️ ボタンを
押す。
コメント欄へ送信が完了する。

STEP 3 WebサイトのURLを添付し、反転学習や個別支援ができます。

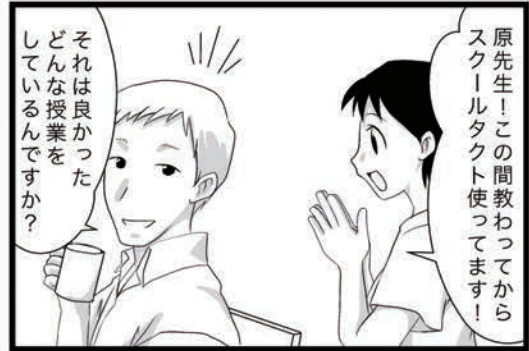
スクールタクトとは別に、
新しいタブを開く。
新しいタブに表示された
検索バーで、Webサイトを
検索する。

Webサイトの
URLをコピーし
コメント欄に
ペーストする。
➡️ ボタンで
送信する。コ
メント欄に動
画やWebペ
ージが掲載
される。

まだある、便利な機能



スクールタクト研究中



第4章 交流の軌跡や個人の取り組みを把握できる

発言マップ



STEP 1

「回答閲覧・コメント・いいね」の活動がグラフ化されます。

ボタンを押し閲覧権限とコメントの設定を行う。「共同閲覧モード」で生徒同士で回答を閲覧し合ったり、**いいね** を押し「いいね」のサインを送ったり、**コメント** を押してコメントを送ったりできる。

ボタンを押し発言マップを開く。回答の閲覧回数・コメント・いいねの回数と相互関係が可視化され、個々の活動を追うことができる。

STEP 2

生徒の積極性や発信力・観察力・考察力などを推測することができます。

コメント、いいね、閲覧回数 を選択するとコメント、いいね、閲覧回数別の回数と相関図が分かる。**Graph**、**Plus** でグラフの形を選択ができる。

「コメント:いいね:閲覧回数=5:1:10」と生徒のアクションにポイントを設け、総合的に取り組みを数値化することもできる。**Total(weighted sum 5:10:1)** を選択しポイントを好みの比率に変更することもできる。

STEP 3

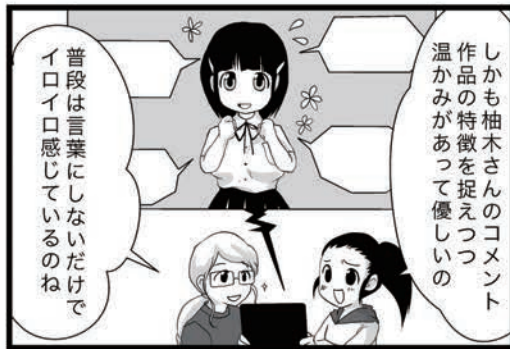
CSVで課題毎または授業毎の活動データをダウンロードできます。

Download CSV ボタンを押すと、授業中に誰とコンタクトを取っていたか、数値化された表がダウンロードできる。

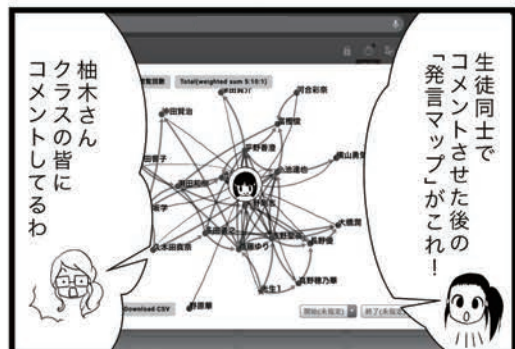
単元別画面の**学習ログ** ボタンを開くと単元毎での取り組み全体の学習ログが見られる。

で期間を入力し、グラフ化する時期を指定する。**Download CSV** ボタンでCSVデータをダウンロードする。

新たな一面に気づく



休憩時間＝情報交換



メタ認知とは

アメリカの心理学者ジョン・H・フラベル氏が定義した心理学用語で、「自分の認知活動(考える・感じる・記憶する・判断するなど)を認知すること」です。自分自身を俯瞰し客観的に見ることに加えて、自分自身のコントロールや冷静な判断や行動ができる能力までを含めて、メタ認知能力と呼ばれています。



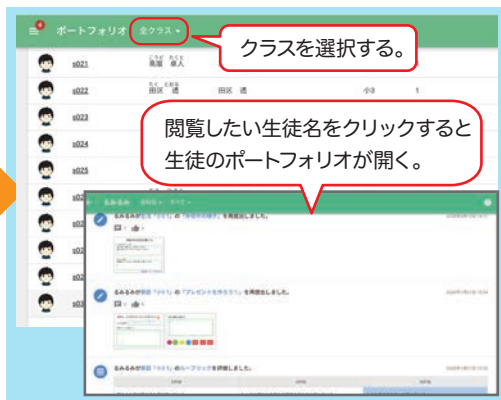
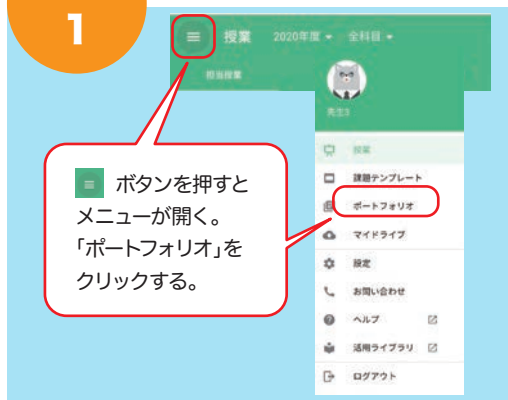
第5章 いつでもどこでも、振り返りを行える

ポートフォリオ機能



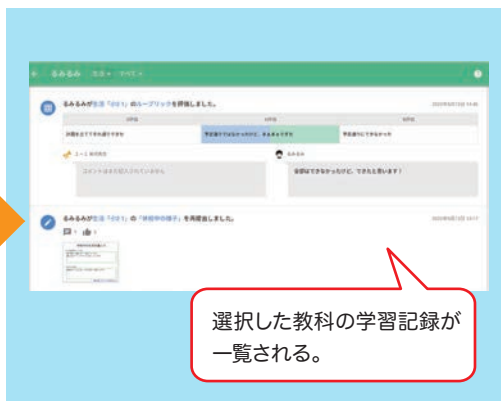
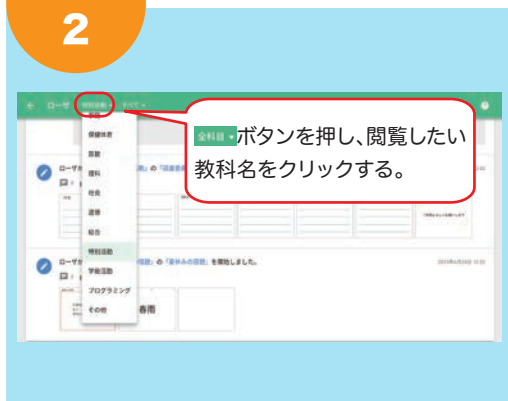
STEP 1

先生も生徒もいつでも学習の記録を確認できます。



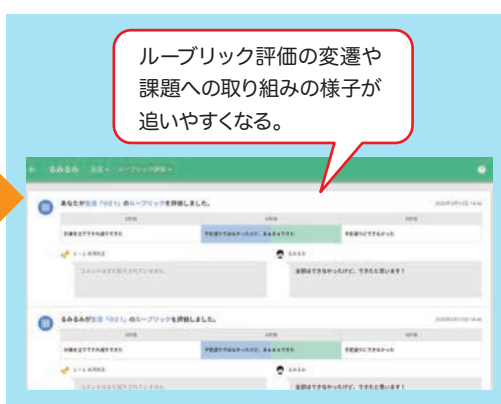
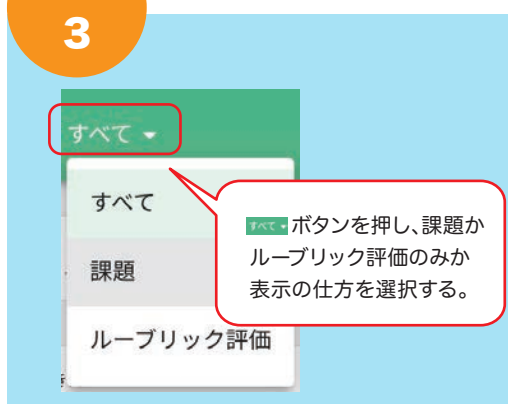
STEP 2

教科別にポートフォリオを開くことができます。



STEP 3

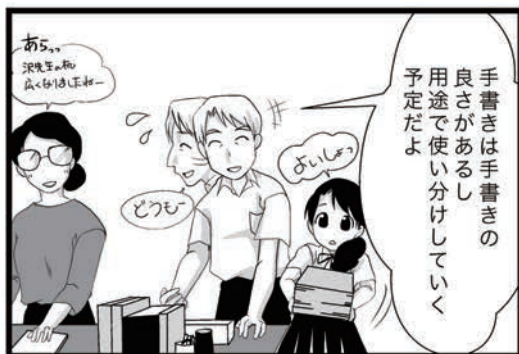
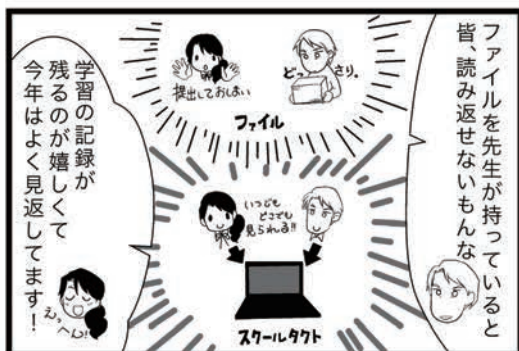
課題、ルーブリック評価を選択して表示することもできます。



振り返りはいつでも



ファイル返却



ポートフォリオとは

生徒が学習過程で残したレポートや試験用紙、活動の様子を残した動画や写真などを、ファイルに入れて保存したもの。これを活用したポートフォリオ評価は従来の科目テストや知力テストだけでは測れない、個人能力の総合的な学習評価方法（質的評価方法）とされ、教師とともに生徒自身も自己評価を行いステップアップしながら、自分のことを客観的に見ることが可能になります。



第6章 数式やグラフが簡単！キレイ！に書ける

数式・グラフ・表の作成



STEP 1

課題作成画面から数式入力画面を開き、入力方法を選択します。

！を押して、**数式ツール**を選択する。

簡単入力かTeX入力かを選択する。

数式入力用のキーボード

STEP 2

数式を入力し、キャンバスへ貼ります。数式の編集も可能です。

数式を入力し、仕上がりを確認する。**保存**するとキャンバスに数式が表示される。

数式を選択すると、ツールバーが表示され、コピーや数式の再入力ができる。

STEP 3

表の作成や関数グラフの挿入もできます。

表の作成を押し、列数・行数を入力。**作成**を押す。

名前

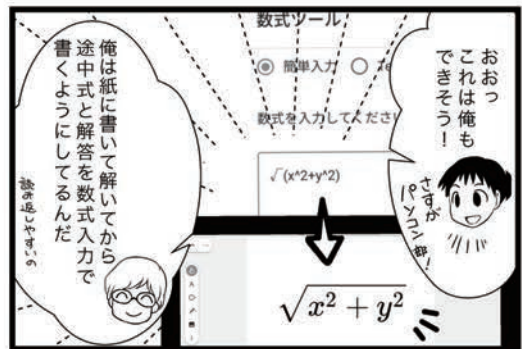
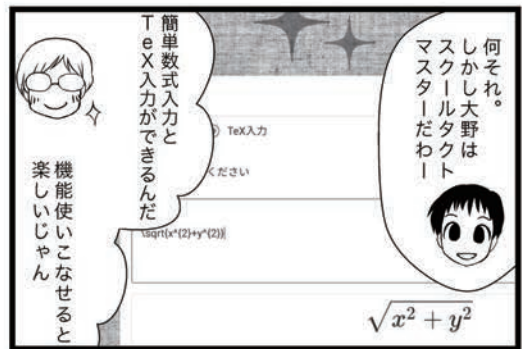
表内でテキストの入力・色・行と列の追加を設定することができる。

関数グラフツールを押し、関数を入力、**保存**を押す。

数式入力を身につけた!



機能研究が趣味



第7章 自己評価と先生評価でメタ認知を育てる

ルーブリック評価



STEP 1 ルーブリック評価を作成&評価内容を編集・保存します。

+ ボタンを押し、「新規ルーブリックを作成」を選択する。

一度作成したルーブリック評価を、**⋮** を押して複製することもできる。

ルーブリック名の更新
評価期限の設定
印刷
別單元に移動

ルーブリックを作成
新規ルーブリックを作成
編集
削除
共有
共有リンクを生成

ルーブリック名: 国語5月ルーブリック
評価形式: 先生・自己評価
提出期限: 2022/05/12 15:00

ルーブリック評価を編集する。
✓ 下書き保存 を押して保存する。

ルーブリック評価を配布する。
評価形式: 自己評価
提出期限: 2020年11月27日 04:00

STEP 2 評価形式と提出期限の設定を行い、配布します。

配布 を押し、評価の形式を選択する。

提出期限の日時を指定し、**配布** を押し、配布する。

ルーブリック評価を配布する
評価形式: 自己評価
提出期限: 2020年11月27日 04:00

STEP 3 生徒評価の閲覧、先生評価やコメントの記入を行います。

生徒評価の提出状況や評価の結果が一覧される。

先生は緑、生徒は青で評価が表示される。
評価とコメントを入力しフィードバックを行う。

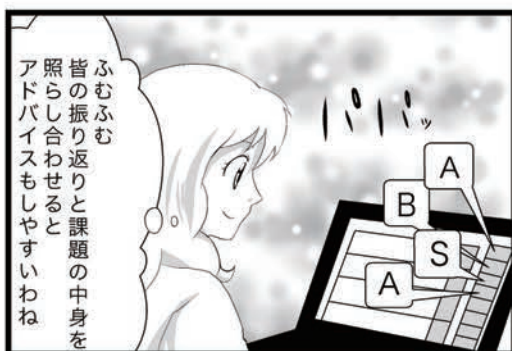
生徒の並び順を変えられる。

↓ を押しと、評価をCSVでダウンロードできる。
📊 を押しと、評価を集計しグラフ化して表示される。

ユーザーID
出席番号
名前
自己評価済: 5/9
先生評価済: 5/9

高次 準入 S ✓
田代 浩 A ✓
真戸 卓 B ✓
地次 六々 S

自己評価と他者評価



拠点校指導の振り返り



ルーブリック評価とは

学習到達状況の評価するための、評価基準表を差します。スクールタクトでは到達レベルを最大4段階で定義でき、子供の学びが各評価項目のどのレベルまで到達しているかを先生と子供の両者が記録できます。継続して達成度を評価することで、客観的な評価が可能になります。

0段階	関心取り方やなど工夫して試している
A1段階	関心ある声で聞き手を見て試している
B1段階	しっかりと聞こえる声で聞き手を意識しながら試している
C1段階	小さな声ですべて聞いて試している

第8章 講義と画面共有で遠隔授業が簡単に実現

音声通話・チャット機能



STEP 1

先生の講義を生徒たちへ一斉配信できます。

ボタンを押し音声通話のマイクの確認など行う。
「音声授業へ参加」を押すと先生の声が一斉配信される。

音声授業の開始
「世界史」の音声授業が開始されます
1回の最大利用時間：60分 / 今月の残り時間：297時間
マイクをオフにしてください
既定 - Internal Microphone (Built-in)

「終了」ボタンを押すと通話終了の確認画面が表示される。
「終了する」を押すと、通話が終了する。

音声授業の終了
「世界史」の音声授業を終了しますか？
終了すると、授業に参加している生徒全員が自動的に退出されます
今回の利用時間は6分でした。今月の残り時間はあと297時間です

STEP 2

先生が指名することで、生徒も音声通話で意見の発表ができます。

生徒が挙手ボタンを押すと「1人」のように表示が出る。

生徒の挙手について「1人」を押して、制限・許可することができる。

ボタンを押して生徒の発言通話を許可する。
「音声を許可」を押すと、許可した生徒と先生の声が一斉配信される。
「音声を切断」を押すと、生徒の音声通話のみ切断される。

STEP 3

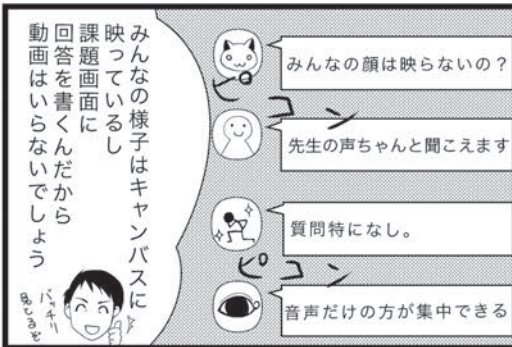
授業チャットで質問の受付や教材データの一斉共有ができます。

ボタンを押すと、授業チャットがキャンバスに表示される。
コメント欄にメッセージを書き、送信ボタンを押すと送信される。
先生は生徒からのコメント送信をoffにすることもできる。

ボタンを押してPC内のファイル選択画面を開く。
使用したいデータを選択する。
送信ボタンを押してチャットへデータを一斉配信する。

※音声通話についてはオプション機能のため、別途お申し込みが必要です。チャット機能はお申し込みせずにご利用いただけます。

データ通信量



初めての遠隔授業



ご利用中に不具合が生じた場合、以下チャートに

不具合が発生

- 画面が真っ白
- 機能が動かない

全ての先生や生徒の端末で発生している。

スクールタクトHPを開き、お知らせ欄に不具合連絡がある。

schoolTakt公式HP: <https://schooltakt.com/news/>



YES

NO

申し訳ございません。
不具合解消までお待ち下さい。

※解消され次第HPでご案内します。

新しい不具合か、フィルタリングの影響の可能性
以下についてご確認ください。

先生・生徒の利用している全ての端末、
同じ通信環境・同一端末の状態を利用

YES

NO

フィルタリングや
端末の通信設定をご確認下さい。

※学校の管理者の先生や保守業者
にお問い合わせください。



システム不具合の可能性が

不具合内容/端末種類/OS/ブ
発生日時/スクリーンショットを
チャットからサポートへご連絡下さ

ヘルプ:

<https://help.schooltakt.com/ja>

メール: schooltakt@codetakt.com

解消されない場合

沿ってご確認くださいませようお願いいたします。

- アクセスできない!
- エラーがでる!



特定の先生や生徒の端末で発生している。

その不具合は**頻繁**に発生している。 ※目安 3回以上

NO ↓

YES

授業中にできる確認方法

- ・ ブラウザページのリロード
- ・ ブラウザ or アプリから再度ログインする
- ・ ブラウザのキャッシュのクリア
- ・ インターネットの接続状況の確認
- ・ 端末の再起動
- ・ 別のブラウザ・端末を利用



解消しない場合

授業後に確認する方法

- ・ OSのアップデート、容量の確認
- ・ フィルタリング/セキュリティソフトの確認
- ・ 端末の通信設定の確認
- ・ 別の通信環境(テザリング等)を利用

※通信設定については学校の管理者先生や
保守業者様にお問い合わせ下さい。



解消されない場合

があります。

が、
用している。

あります。

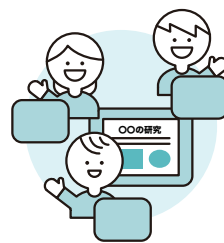
ブラウザ／

ない。

／
m



目的に合わせた運用が可能



新学習指導要領が目指す学習活動へ対応

一斉授業



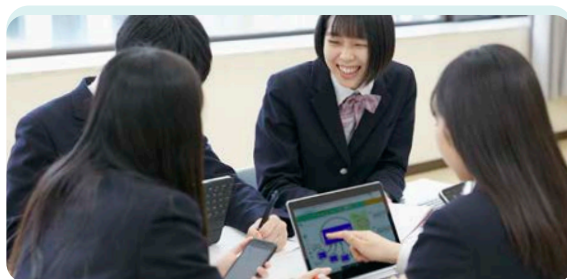
「聞くだけ」から、参加型の一斉授業へ

一斉授業は、生徒が先生の板書をノートに取るだけの活動になりがちですが、スクールタクトを使えば、生徒の理解度を把握しながら生徒全員の授業の感想や質問を独自の技術で瞬時に可視化されるので、特定の感想や質問から学びを掘り下げる参加型の一斉授業を実現します。

ペーパーレスで業務改善も

PDFのキャンタン取り込みで授業準備時間を短縮し、ペーパーレスな授業を展開できます。

協働学習



どんな授業でもワンクリックで協働学習に

授業の目的に応じ、一斉授業・個別学習からワンクリックで協働学習に切り替えることができます。例えば英語では、生徒が作った英作文やテストの予想問題を生徒同士で添削・回答し合うことで、生徒主体の効果的な学び合いを実現します。

グループ活動もスムーズに

グループでの新聞作成、PBLの研究成果のまとめ、グループ活動の記録等でも活用できます。

個別授業



個別学習でも、教え合いで深まる

スクールタクトを使えば、課題を解き終わった生徒が困っている生徒に教え合い、学びを深め合う環境を瞬時に用意することができます。

個別最適な学びの実現

一人一人の学習状況に応じた課題配布で個別最適な学びの実現はもちろん、課題の提出状況、採点状況をまとめて集計できるため、効率的に評価を行うことができます。

反転授業



先生・生徒の負担感少なく反転授業を実施できる

タブレット端末の普及により反転授業が行いやすくなった中、スクールタクトでは、映像教材の配布や既読未読の管理の他、家庭での予習の取り組みをリアルタイムに把握し、コメントや添削による個別フォローが可能となります。

クラスの学びを円滑にキャッチアップ

予習を忘れた生徒がいても、授業時に他の生徒のまとめを学ぶことで、円滑にキャッチアップできる環境を実現できます。

こんな使い方も!

指導と評価の一体化がしやすい

生徒の主体/対話/探求を促し、教員の見取りをサポート
文科省が推奨する3観点やポートフォリオ評価にも対応

知識・技能



対話

暗記だけではなく、
対話を通じて知識が定着する。

思考力・判断力・表現力

思考の整理

学びの探求



シンキングツールで思考を整理し、
ループリックで振り返ることで、学びを探求する。

学びに向かう力・人間性等

承認感

主体性UP



協働による支え合いが、
承認感と主体性を高める。



スクールタクトで先生の見取りを効率化

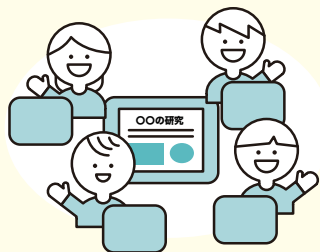
生徒ごとに自動的にポートフォリオ化。見取りがしやすく、指導の改善に活かせる。

こんな使い方も!

先生の声から生まれた機能で業務をサポート

個別最適な課題作りや協働学習、
多様な授業デザインが可能に

スクールタクトでは、単元ごとに課題の整理ができ、学習履歴は自動でポートフォリオになるので、見取りが容易に。また、豊富な課題テンプレートでカンタンに授業準備が行えます。



他の人の意見から学びを深める、

「日常的な学び合い」をスクールタクトで

リアルタイムに全生徒の回答を一覧共有できるので、お互いの思考過程から学び合うことができます。また、ワードクラウドなど学習ログ分析ができることも特徴です。